



48

こ じょう がわ りょく どう 古城川緑道

大阪府 岸和田市

河川埋め立て地を利用し、せせらぎを再生。地域住民の憩いの場を創出。



岸和田市は、岡部氏五万三〇〇〇石の城下町として発達、また繊維産業を中心とした泉州地域の商工業の中心として発達してきた。

しかし、市内の都市計画道路岸和田土生郷修斉線の中央部を流れる古城川は、たびたび浸水し、このため昭和五十六年から三か年にわたり下水道整備事業と街路事業が施工された。河川の埋立暗渠化が行われるとともに、河川跡地に緑道を築造（幅五・一五メートル）し、旧河川（古城川）のたたずまいを残した人工のせせらぎを設け、旧紀州街道には旧橋の復元が行われた。

この事業によって、せせらぎと緑、そして昔の面影を残す旧橋とがマッチした憩いの場が創出され、人々に親しまれている。

データボード

■所在地
大阪府岸和田市大北町
～宮本町地内

■応募者
岸和田市役所
☎0724-23-2121